

# 愛知国道事務所安全協議会 春田支部の取り組みについて

愛知国道事務所安全協議会 春田支部

昭和土木株式会社 遠藤 優太



愛知国道事務所が事業を進めている名古屋環状2号線は、名古屋市の外周部を通り、名古屋市を中心に放射状に伸びる幹線道路と主要地点で連結し、名古屋都市圏の道路網の骨格をなす総延長約66kmの環状道路であり大都市圏の環状道路として、都市内交通の渋滞緩和を図るとともに、沿道環境改善にも大きな役割を果たす道路です。一般部と呼んでいる国道302号と専用部と呼んでいる名二環（名古屋第二環状自動車道）が立体的に並行（複断面構造）しています。

一般部（国道302号）では、現在西南部、東北部、西北部、東部共同溝の4区間で事業を進めています。

その中で我々春田支部は、西南部区間の完成4車線化に向けて道路改良工事、遮音壁設置工事等を主に行っています。西南部区間では10月現在で合計6つの工事が行われており、春田支部はその受注者6社で構成されています。

西南部区間は、「住宅や学校が建ち並ぶ郊外都市」と「工場・物流が盛んな工業地帯」と大きく二つに分かれており、同じ西南部区間ではありますが、場所により特性が大きく異なります。

その中で各工事現場がそれぞれ多彩な工夫を凝らして、労働災害や交通災害および第三者への災害を防止し、安全に工事を進めることを目的

として、日々活動しています。

主な取り組みとしては、各現場の会員が集まり工程調整や工事進捗を話し合う工程会議を毎週1回行い、各現場の施工状況の把握や安全に関する情報共有を図る安全パトロールを毎月1回の頻度で実施しています。このような取り組みを実施して、各種災害防止に努め、西南部区間においては今年度、現在まで無事故・無災害で工事を進めています。

愛知国道事務所安全協議会春田支部では、各受注者と発注者が完成4車線化に向けて一致団結し、無事故・無災害での竣工と併せて高品質な現場の完成を目指しています。



安全パトロールの様子



工程会議の様子